

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	36-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	吉田 俊	みどり公園課	神崎 速夫	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進		
予算事業名	総合運動公園維持管理費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない		
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	令和4年度	
関連法令等	都市公園法					
国・県の計画等			計画期間			
関連個別計画			計画期間			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市総合運動公園は、昭和63年に供用開始されて以来、施設の経年劣化が進んでいます。また、人口減少、少子高齢化、市民ニーズの多様化などの時代の変化に伴い、総合運動公園に求められる役割も変化しています。このような中、市民意識調査においても、大型遊具等が整備された子ども達が遊べる公園のニーズは高くなっています。					
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市総合運動公園が、将来に渡り、市民の健康づくりや、憩いの場、誰もが楽しめる公園となるよう、総合運動公園再生修復基本方針に基づき、施設の整備を行います。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者					
事業内容 (手段、手法など)	・総合運動公園再生修復整備方針に基づき、国の交付金を得ながら再生修復整備工事を実施し、令和4年度の完成をめざします。					
事業行程	項目	年度				
		令和3年度	令和4年度			
	施設整備	中央広場トイレ 自由広場舗装面	ジョギングコース等			
	供用開始	展望・子どもの広場	中央・自由広場			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度			
			令和3年度	令和4年度		
	総合運動公園施設の整備	芝生広場附帯工事 展望広場・ 中央広場整備 (令和2年度)	中央広場トイレ、自由広場整備	自由広場等整備		



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、休憩施設、ジョギング・ウォーキングコースの修復、案内サインの整備工事を着実に実施し、事業完成を目指します。 なお、事業の実施にあたっては、国の社会資本整備総合交付金を活用し、国、県と調整を図りながら、着実な事業の推進に努めます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	施設整備	中央広場トイレ等整備、自由広場整備	中央広場休憩施設、ジョギングコース整備
	供用開始	供用開始	供用開始
実施した取組の内容	・中央広場の休憩施設やジョギングコース等の整備を行いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	総合運動公園施設の整備	芝生広場附帯工事 展望広場・ 中央広場整備 (令和2年度)	令和3年度 中央広場トイレ等整備、自由広場整備 令和4年度 中央広場休憩施設、ジョギングコース等整備

コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)			133,194	千円		53,378	千円		
内訳	国県支出金 ①		66,100	千円		26,660	千円			
	地方債 ②		66,100	千円		26,600	千円			
	その他特財 ③		0	千円		0	千円			
	一般財源 (a)-①-②-③		994	千円		118	千円			
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 補助率: 国1/2								
その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期					
	その他									
人件費	正規職員		0.6	人	4,908	千円	0.6	人	5,142	千円
	その他の職員		0.4	人	1,216	千円	0.4	人	1,328	千円
	人件費合計 (b)		1	人	6,124	千円	1	人	6,470	千円
トータルコスト (a)+(b)				139,318	千円			59,848	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民		
		対象数			101,381	人			101,119	人
	総事業費 / 対象数			1,374	円				592	円

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、ジョギングコース等整備、中央広場休憩施設の整備を実施しました。令和5年度に案内サイン等の施設整備により、事業が完了する予定です。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	当該施設整備については、様々な方法があり、その利用方法によっても整備内容が異なることから、一律に評価することはできません。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	子どもの広場、自由広場の整備に続き、中央広場の休憩施設やジョギングコース等の整備により、来園者が増加するとともに、公園の利用を通じて、その機能性や魅力の理解がさらに高まりました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	国の交付金を活用し、効率的に実施しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	中央広場休憩施設及びジョギングコースが完成したことにより、スポーツや健康づくりがしやすい環境を整備しました。子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものであると考えますので、早期の完成をめざして取組を進めていくことが必要です。また、完成後も公園の魅力の向上や施設を良好に維持するため、利用者と共に継続的に取り組むことが必要です。